

【今日の説教から】

ペンテコステの日の出来事、弟子たちが数多くの国の言葉で神様の偉大な御業をたたえた後、物議が起こり、美しの門での癒しをきっかけにまた物議が起こりました。

役人、長老、律法学者たちはエルサレムに召集され、大祭司とその一族も集まりました。万座のお歴々の前でペテロは何を語るのでしょうか。

「そのまん中に使徒たちを立たせて尋問した、『あなたがたは、いったい、なんの権威、また、だれの名によって、このことをしたのか』」

その厳かな場で、その真ん中に立たされ、緊張のあまり言葉を失いそうですが、何の権威、誰の名によってと聞かれれば、これはまさしくイエス様のお名前とその栄光とを証しするチャンスだったのです。

「その時、ペテロが聖霊に満たされて言った、…あなたがたご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていてもらいたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。」「人々はペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に、ふたりが無学な、ただの人たちであることを知って、不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め、…」

民の指導者たちは学があっても何の権威も力もありませんでした。「イエスと共にいた者」であるかが大切なのです。

皆様おはようございます。またものすごい暑さがぶり返してきました。皆様お元気にお過ごしでいらっしゃいましたでしょうか。

いよいよ今週末から8月に入ります。神様が暑さの中にもかかわらず、私たちの健康をお守りくださいますように、互いのためにお祈りいたしましょう。

さて、美しの門で起こったことが余波を呼び、ペテロとヨハネとは投獄され、翌日、彼らは民の指導者たちの尋問を受けることになりました。

4:1 彼らが人々にこのように語っているあいだに、祭司たち、宮守がしら、サドカイ人たちが近寄ってきて、

4:2 彼らが人々に教を説き、イエス自身に起った死人の復活を宣伝しているのに気をいら立て、4:3 彼らに手をかけて捕え、はや日が暮れていたので、翌朝まで留置しておいた。

4:4 しかし、彼らの話を聞いた多くの人たちは信じた。そして、その男の数が五千人ほどになった。

4:5 明くる日、役人、長老、律法学者たちが、エルサレムに召集された。

4:6 大祭司アンナスをはじめ、カヤパ、ヨハネ、アレキサンデル、そのほか大祭司の一族

もみな集まった。

4:7 そして、そのまん中に使徒たちを立たせて尋問した、「あなたがたは、いったい、なんの権威、また、だれの名によって、このことをしたのか」。

4:8 その時、ペテロが聖霊に満たされて言った、「民の役人たち、ならびに長老たちよ、

多くの人の前に立たされ、尋問されるペテロ。しかしイエス様はこのような時の守りと導きのため、次のように語っておられました。そしてこの状況においてその守りはぴったりの中でした。

ルカ 12:11 あなたがたが会堂や役人や高官の前へひっぱられて行った場合には、何をどう弁明しようか、何を言おうかと心配しないがよい。

12:12 言うべきことは、聖霊がその時に教えてくださるからである」。

「あなたがたは、いったい、なんの権威、また、だれの名によって、このことをしたのか」。

素晴らしい神様の御業が今まさにここに起こっているというのに、民の指導者たちがそれを神様の素晴らしい御業だと真っ先に解説して神様をあがめることが出来ず、何の権威によって、誰の名によってと訪ねるというこの出来事には悲しみを覚えます。指導者たちが神様から彷徨い出で、羊飼いのない羊のように彷徨っていました。指導者たちがこのような有様であったのならば、民はどのようにして生きていったらよいのでしょうか。

マタイ 9:36 また群衆が飼う者のない羊のように弱り果てて、倒れているのをごらんになって、彼らを深くあわれまれました。

9:37 そして弟子たちに言われた、「収穫は多いが、働き人が少ない。

9:38 だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい」。

この指導者たちの聞きぶりを見ていますと、ヨハネ 9 章の生まれつき目の見えなかった人の癒しの出来事を思い出します。指導者たちは、どうにかしてイエス様はペテン師であり、その業はまやかしであることを言っただけなのに、彼らの頑迷な心はまるで心の目がふさがれているようで、何も見えなくなっているかのようです。

ヨハネ 9:15 パリサイ人たちもまた、「どうして見えるようになったのか」、と彼に尋ねた。彼は答えた、「あのかたがわたしの目にどろを塗り、わたしがそれを洗い、そして見えるようになりました」。

9:16 そこで、あるパリサイ人たちが言った、「その人は神からきた人ではない。安息日を守っていないのだから」。しかし、ほかの人々は言った、「罪のある人が、どうしてそのようなしを行うことができようか」。そして彼らの間に分争が生じた。

9:17 そこで彼らは、もう一度この盲人に聞いた、「おまえの目をあけてくれたその人を、どう思うか」。「預言者だと思います」と彼は言った。

9:18 ユダヤ人たちは、彼がもと盲人であつたが見えるようになったことを、まだ信じなかった。ついに彼らは、目が見えるようになったこの人の両親を呼んで、

9:19 尋ねて言った、「これが、生れつき盲人であつたと、おまえたちの言っているむすこか。それではどうして、いま目が見えるのか」。

9:20 両親は答えて言った、「これがわたしどものむすこであること、また生れつき盲人であつたことは存じています」。

9:21 しかし、どうしていま見えるようになったのか、それは知りません。また、だれがその目をあけて下さったのかも知りません。あれに聞いて下さい。あれはもうおとなですから、自分のことは自分で話せるでしょう」。

9:22 両親はユダヤ人たちを恐れていたもので、こう答えたのである。それは、もしイエスをキリストと告白する者があれば、会堂から追い出すことに、ユダヤ人たちが既に決めていたからである。

9:23 彼の両親が「おとなですから、あれに聞いて下さい」と言ったのは、そのためであつた。

9:24 そこで彼らは、盲人であつた人をもう一度呼んで言った、「神に栄光を帰するがよい。あの人が罪人であることは、わたしたちにはわかっている」。

9:25 すると彼は言った、「あのかたが罪人であるかどうか、わたしは知りません。ただ一つのことだけ知っています。わたしは盲人であつたが、今は見えるということです」。

9:26 そこで彼らは言った、「その人はおまえに何をしたのか。どんなにしておまえの目をあけたのか」。

9:27 彼は答えた、「そのことはもう話してあげたのに、聞いてくれませんでした。なぜまた聞こうとするのですか。あなたがたも、あの人の弟子になりたいのですか」。

9:28 そこで彼らは彼をのしって言った、「おまえはあれの弟子だが、わたしたちはモーセの弟子だ」。

9:29 モーセに神が語られたということは知っている。だが、あの人がどこからきた者か、わたしたちは知らぬ」。

9:30 そこで彼が答えて言った、「わたしの目をあけて下さったのに、そのかたがどこからきたか、ご存じないとは、不思議千万です」。

9:31 わたしたちはこのことを知っています。神は罪人の言うことはお聞きいれになりませんが、神を敬い、そのみこころを行う人の言うことは、聞きいれて下さいます」。

9:32 生れつき盲人であつた者の目をあけた人があるということは、世界が始まって以来、

聞いたことはありません。

9:33 もしあのかたが神からきた人でなかったら、何一つできなかったはずですよ」。

9:34 これを聞いて彼らは言った、「おまえは全く罪の中に生れていながら、わたしたちを教えようとするのか」。そして彼を外へ追い出した。

9:35 イエスは、その人が外へ追い出されたことを聞かれた。そして彼に会って言われた、「あなたは人の子を信じるか」。

9:36 彼は答えて言った、「主よ、それはどなたですか。そのかたを信じたいのですが」。

9:37 イエスは彼に言われた、「あなたは、もうその人に会っている。今あなたと話しているのが、その人である」。

9:38 すると彼は、「主よ、信じます」と言って、イエスを拝した。

9:39 そこでイエスは言われた、「わたしがこの世にきたのは、さばくためである。すなわち、見えない人たちが見えるようになり、見える人たちが見えなくなるためである」。

9:40 そこにイエスと一緒にいたあるパリサイ人たちが、それを聞いてイエスに言った、「それでは、わたしたちも盲人なのではないですか」。

9:41 イエスは彼らに言われた、「もしあなたがたが盲人であつたなら、罪はなかったであろう。しかし、今あなたがたが『見える』と言い張るところに、あなたがたの罪がある」。

4:7 そして、そのまん中に使徒たちを立たせて尋問した、「あなたがたは、いったい、なんの権威、また、だれの名によって、このことをしたのか」。

4:8 その時、ペテロが聖霊に満たされて言った、「民の役人たち、ならびに長老たちよ、

4:9 わたしたちが、きょう、取調べを受けているのは、病人に対してした良いわざについてであり、この人がどうしていやされたかについてであるなら、

4:10 あなたがたご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていただきたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。

ペテロは霊的な暗黒の中にあるこの時、指導者たちを前に、本当に私たちがすがり、救いを得ることの出来る御名とその権威について語ります。これこそが人にとって大切な教えです。たった一つの知るべき知識です。

そもそもどうしてペテロらはこのようにして犯罪者のように取り調べを受けているのか。それは「病人に対してした良いわざについてであり、この人がどうしていやされたかについて」でした。

よい業、癒しの業を成して目を付けられるというのはどうしたものなのでしょうか。しかし、そ

の良き業こそが、指導者たちがなすべきよい業が、その暗黒の中にある時代の指導者たちにとって成し得ないものであり、彼らにとっては成すべき力も信仰も憐れみの心も失っていたのです。自分たちがすべきことを成し得る人たちの前に、膝を屈めて謙虚にその權威について、その御名について教えを乞えばいいものを、彼らのプライドの高さがそれを許しませんでした。彼らのその傲慢が、彼らのその苦しめる民に対しての愛のない心の冷淡さが増し加わり、はびこっているというのに、彼らの心の中には痛みが少しもありませんでした。彼らの心の中にあるのは嫉妬であり、彼らは自分たちの權威によって不埒な者たちの業の火消しをすることに熱心でした。

このような民の指導者たちの暗さに対して、聖霊は働かれます。

4:8 その時、ペテロが聖霊に満たされて言った、「民の役人たち、ならびに長老たちよ、

4:9 わたしたちが、きょう、取調べを受けているのは、病人に対してした良いわざについてであり、この人がどうしていやされたかについてであるなら、

4:10 あなたがたご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていてもらいたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。

この言葉を聞き、人々は心を刺され、数日にわたり数千人の人たちが自分の罪を悔い改めて救いを求めたのです。ヨエルが語り、ダビデが語り、モーセが語り、アブラハムが聞かされた遠い子孫、特別な子孫であるイエス様による救いについて、指導者たちはどのような反応を示すのでしょうか。

4:11 このイエスこそは『あなたがた家造りらに捨てられたが、隅のかしら石となった石』なのである。

4:12 この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」。

4:13 人々はペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に、ふたりが無学な、ただの人たちであることを知って、不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め、

4:14 かつ、彼らにいやされた者がそのそばに立っているのを見ては、まったく返す言葉がなかった。

ペテロとヨハネは大胆に語りました。指導者たちがびっくりするほどに大胆でした。そして

指導者たちは、ペテロとヨハネが無学な普通の人であるのを知って不思議に思いました。しかし指導者たちはどうだったのでしょうか。その学が、教養が、その知識が人を救うのでしょうか。その長い衣が、その長い祈りが、その断食が、どれだけ人を救ったのでしょうか。自己満足に過ぎなかったのではないのでしょうか。

マタイ 6:1 自分の義を、見られるために人の前で行わないように、注意しなさい。もし、そうしないと、天にいますあなたがたの父から報いを受けることがないであろう。

6:2 だから、施しをする時には、偽善者たちが人にほめられるため会堂や町の中でするように、自分の前でラッパを吹きならすな。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:3 あなたは施しをする場合、右の手のしていることを左の手に知らせるな。

6:4 それは、あなたのする施しが隠れているためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

6:5 また祈る時には、偽善者たちのようにするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

6:16 また断食をする時には、偽善者がするように、陰気な顔つきをするな。彼らは断食をしていることを人に見せようとして、自分の顔を見苦しくするのである。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:17 あなたがたは断食をする時には、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。

6:18 それは断食をしていることが人に知れないで、隠れた所においでになるあなたの父に知られるためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いて下さるであろう。

6:19 あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。

6:20 むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

6:21 あなたの宝のある所には、心もあるからである。

6:22 目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいだろう。

6:23 しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであろう。

マタイ 23:1 そのときイエスは、群衆と弟子たちとに語って言われた、

23:2 「律法学者とパリサイ人とは、モーセの座にすわっている。

23:3 だから、彼らがあなたがたに言うことは、みな守って実行しなさい。しかし、彼らのすることには、ならうな。彼らは言うだけで、実行しないから。

23:4 また、重い荷物をくくって人々の肩にのせるが、それを動かすために、自分では指一本も貸そうとはしない。

23:5 そのすることは、すべて人に見せるためである。すなわち、彼らは経札を幅広くつくり、その衣のふさを大きくし、

23:6 また、宴会の上座、会堂の上席を好み、

23:7 広場であいさつされることや、人々から先生と呼ばれることを好んでいる。

23:8 しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはならない。あなたがたの先生は、ただひとりであって、あなたがたはみな兄弟なのだから。

23:9 また、地上のだれをも、父と呼んではならない。あなたがたの父はただひとり、すなわち、天にいます父である。

23:10 また、あなたがたは教師と呼ばれてはならない。あなたがたの教師はただひとり、すなわち、キリストである。

23:11 そこで、あなたがたのうちでいちばん偉い者は、仕える人でなければならない。

23:12 だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう。

23:13 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわざいである。あなたがたは、天国を閉ざして人々をはいらせない。自分もはいらないし、はいろうとする人をはいらせもしない。

23:14 「偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわざいである。あなたがたは、やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈をする。だから、もったきびしいさばきを受けるに違いない。」

23:15 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわざいである。あなたがたはひとりの改宗者をつくるために、海と陸とを巡り歩く。そして、つくったなら、彼を自分より倍もひどい地獄の子にする。

23:24 盲目な案内者たちよ。あなたがたは、ぶよはこしているが、らくだのみこんでいる。

23:25 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわざいである。杯と皿との外側はきよめるが、内側は貪欲と放縦とで満ちている。

23:26 盲目なパリサイ人よ。まず、杯の内側をきよめるがよい。そうすれば、外側も清くなるであろう。

23:27 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわざいである。あなたがたは白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死人の骨や、あらゆる不潔なものでいっぱいである。

23:28 このようにあなたがたも、外側は人に正しく見えるが、内側は偽善と不法とでいつ

ばいである。

しかしこれがすべからく人間の外的罪の行いです。そこにはいかなる例外もありません。すべての人が不義なのです。すべての人が間違いに間違いを重ねて、正しいことをすることが出来なくなっているのです。しかしその不義を清めるためにイエス様が来てくださったのです。イエス様の十字架による贖いしか救いの道はありません。

4:12 この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」。

このように言われている通りです。

1 ヨハネ 1:7 しかし、神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くならば、わたしたちは互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。

1:8 もし、罪がないと言うなら、それは自分を欺くことであって、真理はわたしたちのうちにない。

1:9 もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。

1:10 もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言はわたしたちのうちにない。

4:13 人々はペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に、ふたりが無学な、ただの人たちであることを知って、不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め、

4:14 かつ、彼らにいやされた者がそのそばに立っているのを見ては、まったく返す言葉がなかった。

私たちを大胆に、恵みと愛とに満たしてよい業に励ませ、この地上に喜びと癒しと救いをもたらして下さるのは私たちがイエス様と共にいるものであるからです。私たちと共にいてくださるイエス様がそのことを教え、そのことを成して下さるのです。無学な普通の人であっても、大胆に、指導者に勝る著しい業がなされるのも、イエス様を見、イエス様から聞いたことによるものです。

4:15 そこで、ふたりに議会から退場するように命じてから、互に協議をつづけて



4:16 言った、「あの人たちを、どうしたらよからうか。彼らによって著しいしるしが行われたことは、エルサレムの住民全体に知れわたっているので、否定しようもない。

4:17 ただ、これ以上このことが民衆の間にひろまらないように、今後はこの名によって、いっさいだれにも語ってはいけなと、おどしてやろうではないか」。

4:18 そこで、ふたりを呼び入れて、イエスの名によって語ることも説くことも、いっさい相成らぬと言いわした。

4:19 ペテロとヨハネとは、これに対して言った、「神に聞き従うよりも、あなたがたに聞き従う方が、神の前に正しいかどうか、判断してもらいたい。

4:20 わたしたちとしては、自分の見たこと聞いたことを、語らないわけにはいかない」。

私たちはもっともっとイエス様について聖書から見聞きし、この方と共におらせていただき、その見たこと聞いたことを語らずにはいられないのです。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。無学な普通の人であっても、ペテロを大胆な人に変えたのは、彼がイエス様と一緒にいた者であるという事でした。「あなたがたご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていてもらいたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。わたしたちとしては、自分の見たこと聞いたことを、語らないわけにはいかない」との力強い証しをありがとうございます。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。